

第2回吹田市立子育て青少年拠点夢つながり未来館
青少年交流活動支援業務委託事業者選定委員会議事録（要旨）

- 1 開催日時
令和2年7月1日（水）午前10時00分～午前11時30分
- 2 開催場所
子育て青少年拠点夢つながり未来館 2階 会議室
- 3 出席委員
若槻委員、谷村委員、川上委員、上茶谷委員、金子委員
- 4 事務局出席者
前田館長、市場所長、藤崎主査、今川係員、今泉係員、辻本係員
- 5 次第
 - (1) 選定委員会についての事前説明
 - (2) ヒアリング審査の実施
 - (3) 事業者の選定について
- 6 公開・非公開の別
非公開

7 議事内容

委員長

ただ今より、第2回吹田市立子育て青少年拠点夢つながり未来館青少年活動サポートプラザ青少年交流活動支援業務委託事業者選定委員会を開催いたします。

本日は、当委員会に御出席いただきまして、誠にありがとうございます。はじめに、事務局から本日の会議の出席状況の報告をお願いします。

事務局

本日の会議の出席者の状況を報告いたします。

本選定委員の総数5名中、出席者5名であり、吹田市立子育て青少年拠点夢つながり未来館青少年活動サポートプラザ青少年交流活動支援業務委託事業者選定委員会規則第5条第2項の規定により委員の過半数以上の出席がございますので、本選定委員会は成立していることを御報告いたします。

委員長

それでは、これから、一般財団法人大阪市青少年活動協会の説明を受けることとします。一般財団法人大阪市青少年活動協会様よろしくをお願いします。

－ 団体のプレゼンテーション －

委員

3つ質問があるのですが、

- ① ロビーワーカーの定着率、子供と継続的な関係が形成されているのか。
- ② 利用者のエリア、利用状況はどうなのか。
- ③ 事業をしていく中で、利用者のニーズがあることや気づいたことはあるか。

団体

- ① 現在19名まで増員しており、基本的には週1回活動を確実にお願いしている状況です。ただ、お仕事など、御都合がある方は、多少ずれたりしますが、少しでも定着率を上げるために活動曜日を変更するといった方法で回数が減らないように工夫してまいりました。
- ② 小学生は北山田小学校のエリアが非常に多いです。中学生は、比較的少なめです。高校生は、近くの高校の方に多く御利用いただいています。大学生は、意外とあまり多くないです。全体的には小学生と高校生が圧倒的に多いという形になっております。
- ③ 利用者のニーズで気づいたことですが、いつも来ている子がかかなり多く、少し心に傷を負っている子や話をずっとしたがる子が、私たちの想像よりはるかに多く、長い時間、ロビーでの人との関わりを望んでいる子がいるなど実感しています。

委員

- ① ロビーワーカーは19名ということでしたが、その内訳を教えてください。
- ② シフトのところで、8月の例を挙げていただいています。実際はどのくらい
の人数で運営していくのか、責任者の勤務回数が少なく、副責任者が3名います
が、実際はどのように運営していくのか。
- ③ 自主企画について、この施設の特性を踏まえ、どう進めていきたいか。

団体

- ① ロビーワーカーの内訳につきましては、大学生が活動もしやすく、歳も近いの
で、大学生がベースになればいいなと考えていましたが、一番上で70歳近い方から
社会人の方にニーズがあります。19名の内訳については、今正確な内訳が生まれ
ませんが、約半数が大学生くらいまでの年代です。そのほかには、社会人や留学生
もいまして、中国やイギリスの方もいます。将来的には、人数を一気に増やすの
ではなく、バランスよく活動率が定着することを目指します。
- ② 勤務シフトについてですが、責任者1名、副責任者3名を配置させていただきました。
月100時間程いる子も含め、私たちが得意としていなかった専門的な要
素を勉強しないと対応できないなという利用者がたくさんいまして、研修を3年
間でたくさんしています。責任者とここで載せている者を中心に3名配置して、
この3名が同レベルで青少年に親身に向き合うことができる対応ができる配置に
させていただいています。責任者ですが、大阪本部のほうに連携部長という形で
置くことになるのですが、広域で情報を集める担当者として副責任者を指導して
いく立場で対応させていただきたいということです。実際のところ副責任者3名
が現場を回していくというような形で、情報共有や会議は責任者と副責任者がし
ていくような形になっております。3年間やってきた経験で、吹田市と調整させ
ていただいていますので、そこに必ずプラス1、もしくは2の人員を配置する
というふうにしております。
- ③ フリーな居場所ということで、誰に対しても居心地のいい場所を提供しようと
運営していましたが、人に話をしたい人もいれば人に話を聞かれない人もい
ますし、騒いで遊びたい人もいれば静かに過ごしたいという人もいまして、ニー
ズがばらばらで全員にとって居心地のいい場所は、誰かにとって居心地が悪くな
ってしまうのではないかとということがありました。居場所となるために、来にく
いとか来たら嫌な思いをする場には絶対にしたくありませんので、スタッフが対
応することによってその子のニーズに応えるということは、いつでもできると思
っていますので、そういったスタッフを増やして対応に当たる、これが私たちの
持っている理想かなと思います。

委員

新型コロナウイルスの影響を受けて、6月から学校が再開し、月曜日から金曜日ま
で、小学校1年生から3年生は5時間、4年生から6年生は6時間授業を受けていま

す。交流ロビーが再開しても利用者は来る時間が遅れますよね。例えば、5 時間といたら 14 時 30 分くらいに授業が終わります。家に帰ってから来るとなるとなかなか来る時間がないと思います。6 時間となったら 15 時 30 分くらいに終わります。時期は未定とは思いますが、交流ロビーが再開する際には、どのような対応が望ましいと考えますか。

団体

コロナの影響で3月6日から交流ロビーが閉まっています。恐らくそのようなニーズは付近を歩いていてもすごく感じるのですが、今は来ることができない状況で、子供たちがどのように思っているか私たちもすごく心配しています。私たちのスタッフの多くが地域の母親の層ですが、北山田小学校の保護者の者もスタッフにいます。学校の様子などは、よく聞きます。外の公園で遊んでいる子や、「入れないの？」と前まで来て帰っていく子もたくさんいます。この場としては子供の様子を図ることはできないのですが、恐らくヤキモキしているのではないかなと感じています。できるだけそのストレスをすぐに抜くことができるように対応していきたいと考えています。

委員長

時間が参りましたので、質問を終了とさせていただきます。

事務局

ただ今、委員の皆様にご採点いただき、その結果を集計した表をお配りしております。横長の表の一番下にある合計は、各委員の合計点が記載されています。また、表の右端には、各項目の全委員の合計点が記載されています。どちらも、最低基準を満たしており、選定の基準を満たしていることを御報告させていただきます。

委員長

事務局から報告がありましたとおり、最低基準を満たしているということですので、一般財団法人大阪市青少年活動協会を委託事業者として選定するという御異議ございませんか。

各委員

— 異議なし —